

シラバス

授業科目	テーラーメイド薬物治療		
(英文名)	Tailor-made Medication		
担当教員	大濱 修 他		
単位数(期別)	△2(前)	対象学生	4P

■授業のねらい・概要■

医薬品の投与は、薬効の個体差を生じる年齢、体格、妊娠などの生理的要因や遺伝的素因の違いなどを配慮して行う必要がある。ここでは、薬物動態学的な個体差の例として、薬物代謝酵素やトランスポーターの遺伝子多型について学ぶ。また、新生児や幼児、高齢者、妊婦や授乳婦などの特殊な生理的状況下における薬の投与計画、基礎疾患を背景（腎疾患、肝疾患、心疾患など）にした患者への薬の投与計画、さらに薬物動態学的なパラメーターを活用して薬の投与計画を決めるために必要な考え方などを学ぶ。【C15(3)】

■授業(学習)の到達目標■

1. 薬物の作用発現、薬物動態に影響する遺伝的素因について、説明できる。
2. 遺伝的素因を考慮した薬物治療の注意点について、説明できる。
3. 年齢的要因、生理的要因を考慮した薬物治療の注意点について、説明できる。
4. 合併症を有する患者における薬物治療の注意点について、説明できる。
5. 薬物動態学的なパラメーターを活用した薬の投与計画を立案できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 新生児・幼児に対する薬物治療(大濱) | 11 患者固有の薬動学的パラメーターを用いた薬物投与設計(田中) |
| 2 妊婦・授乳婦に対する薬物治療(大濱) | |
| 3 高齢者に対する薬物治療(大濱) | 12 ポピュレーションファーマコキネティクスの概念と応用(田中) |
| 4 栄養障害・心疾患を有す患者の薬物治療(大濱) | 13 薬動力学的パラメーターを用いた薬物投与設計(田中) |
| 5 医薬品の開発と薬物治療の発展(高山) | |
| 6 中間試験 | 14 薬物作用の日内変動と薬物投与計画(田中) |
| 7 薬物の作用発現と遺伝的素因(宇野) | |
| 8 薬物動態に影響する遺伝的素因(宇野) | 15 定期試験 |
| 9 遺伝的素因を考慮した薬物治療(宇野) | |
| 10 肝臓・腎臓疾患を有す患者の薬物治療(宇野) | |

■成績評価の方法・基準■

中間試験、定期試験による

■使用テキスト■

なし

■参 考 書■

スタンダード薬学シリーズ6「薬と疾病」Ⅲ. 薬物治療(2) および薬物治療に役立つ情報(東京化学同人)

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	随時
----------------------------	----